

人にやさしく！

「できる自分」も「うまくできない自分」も！

先日の運動会は、天候に恵まれ、少し暑さの厳しい中での開催となりました。今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の観覧を制限し、また競技にご参加をお願いしましたが、ご協力いただきありがとうございました。また、PTAの執行部、保健体育部の皆様をはじめ、お手伝いいただいた保護者の皆様には、前日の準備から当日の校門での立哨、後片付けにご協力いただき、心よりお礼申し上げます。来年は、子どもたちの元気な様子を制限なく観覧してほしいと願っています。



また、6年生の修学旅行を10/9～10/10に予定しておりましたが、大型台風到来のため、11/11～11/12に延期しました。通知が実施の前日となり、旅行先や保護者の皆様に多大なご迷惑をおかけしましたが、より良い修学旅行を考え、ご理解いただきました。今後も、保護者の皆様には、本校の取組に、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、今回のテーマは、「できる自分も、うまくできない自分も」です。学校では、子どもたちが自分の思いをうまく表現できなくて、物を壊してしまったり、友達とけんかになったりすることは、珍しいことではありません。そんな時、「お家の人に連絡するよ」というと、多くの子どもたちが大変いやがります。思うに、昔から日本には「しつけ」の文化があり、行儀を良く、作法を間違わないようにすることに非常に重点が置かれていました。それはすばらしいことでもあるけれど、その反面、「うまくできないこと」を悪いことだと思い、多くの子どもたちが、お父さんやお母さんに「できる自分」を見せたがっていることも事実です。多くの子どもたちは、毎日の小さな成功体験を積み重ねて、どんどん自分のレベルを上げていくものですが、途中の結果にはうまくいかないことも多いのが常です。成功も失敗もする子どもたちの日常に、一喜一憂するお父さんやお母さんを見て、そのような「できる自分」を見せたがる傾向が、子どもたちには顕著にあらわれているように思います。



子どもにとっては、どこかにだめな自分を受け入れてくれる、どんな結果でも受け入れてくれるという安心できる場所が必要で、それが家族であれば、子どもたちが将来、様々なプレッシャーの中で、思い切った勝負やチャレンジをすることができるようになると思います。これからも、「子どもたちの未来を楽しみにしている」学校と家庭という存在が、お互いにその役割を確認しながら連携して取り組みたいと思います。

コミュニティスクール

天理市では、今年度より、学校運営協議会制度（コミュニティスクール）が導入されました。本校でも8月21日に第1回の会議が開催され、今年度の学校教育計画や地域の活動について、各方面から様々なご意見をいただき、活発に協議しました。本校の運営委員は、区長会会長、PTA会長、子供会会長、公民館長、幼稚園長、交通協会代表、民生委員代表、地域ボランティア代表、コミュニティスクール担当教員、学校長です。本校では、今後も地域住民の意見を反映させ、開かれた学校づくりを推進していきたいと考えています。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



いきいきタイム



9月17日木曜日の6時間目に「いきいきタイム」がスタートしました。この「いきいきタイム」は、4年生以上の児童が、「アート・パソコン」、「家庭科・実験」、「将棋・オセロ」、「バドミントン」、「球技」の各コースに分かれて、クラブ活動の時間としてそれぞれ自主的に活動するものです。この活動は、学年を超えてより良いなかま作りをおこない、自分の良いところを伸ばしながら、集団の一員として自主的・実践的な心を育むことを目的としており、各コースの内容は、毎年6年生の希望で決めています。初回到1年間の計画を立て、2回目にはイラスト制作やスライム作り、バレーボール、対戦形式での実践等、それぞれ活動を始めました。どのコースもしっかり目標を立てて、「いきいき」と活動してほしいと願っています。